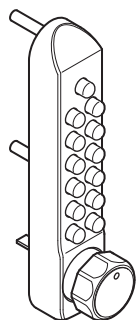


KEYLEX[®] 500

KL500
GOAL (LX/LD)
シリンダー取替

取扱説明書 （施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22274

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈 記 憶 番 号 の 記 録 〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

キーレックス 500 シリーズ 保証書

お買い上げ日から 1 年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障による場合、さらに本証のお買い上げ日 及び 販売店名の記入のない
場合は、保障期間内でも有料修理になります。

機 種 名： キーレックス 500 シリーズ

お買い上げ日： 年 月 日 保証期間：お買い上げ日より 1 年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.

検印



株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代)
FAX. 03-5967-3103

福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

札幌出張所 TEL. 011-583-3575 (代)
FAX. 011-583-3572

基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている

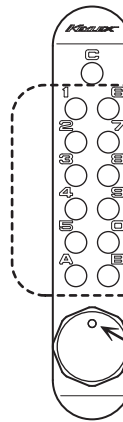
※ 図は右吊元仕様です

デッドボルトは
出ていない

③

①

② アイマークの位置



室内側

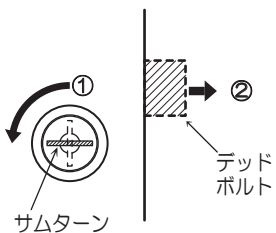
施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

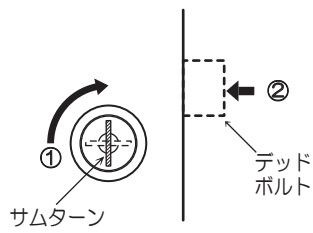
解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます

施錠



解錠



室外側

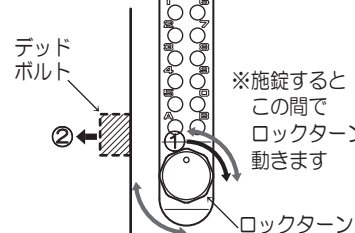
施錠

- ① ロックターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

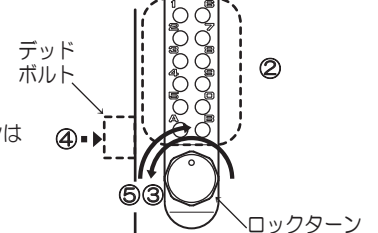
解錠

- ① C ボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶ボタンを押します
- ③ ロックターンを回しきります（アイマーク：ヨコになる）
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します（アイマーク：ヨコ→タテ）

施錠



解錠

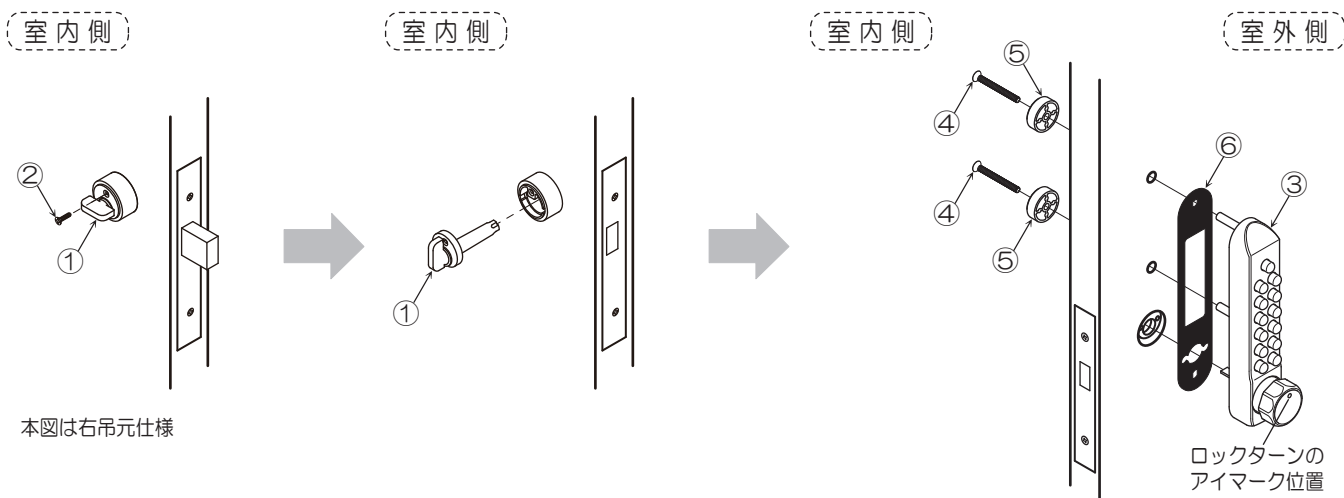


※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。



I: ①サムターン座を90度回し
(デッドボルトが飛び出します)
②サムターン固定ねじを
抜き取ります。

II: ①サムターン座を
図の向きに戻し、
(デッドボルトが収まる)
抜き取ります。

III: ③キーレックス本体の落下に注意しながら、
④本体固定ねじをはずします。
IV: ③キーレックス本体、⑤室内丸座、
⑥樹脂ベースを取りはずします。

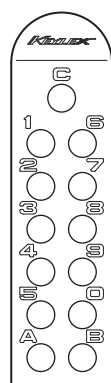
【2】記憶番号の設定変更をします

①本体表側のCボタンを押します。
⑤まで、記憶ボタンは押さないで
ください。

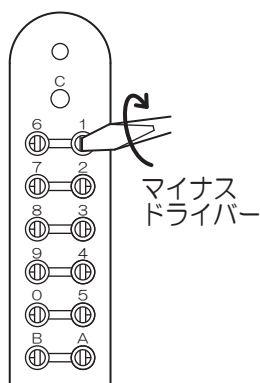
②本体を裏側にし、記憶されている
ロックピンを回転させ
(ロックピンの横溝を外側にする)
すべてをクリアします。

③新規に記憶する番号を必ず記録します。
本紙裏面に記入欄があります。

④新規記憶番号のロックピン横溝を
中央部の横溝にあわせます。

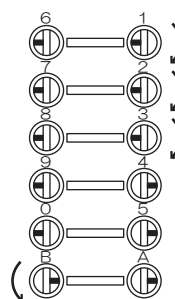


本体表側



本体裏側

例: B 1 2 3



⑤新規記憶ボタンを押し、ロックターンが
確実に作動することを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

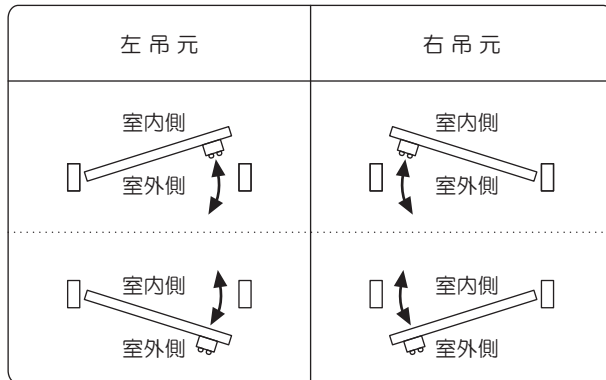
【1】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。

正しく作動しない場合は、記憶番号とテールピースの取り付け時の向きを確認してください。

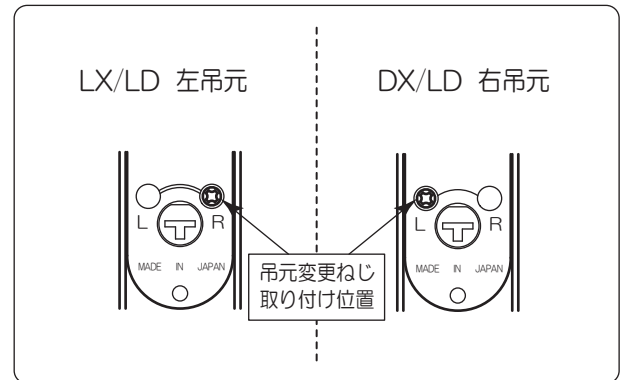
吊元と吊元変更ねじの確認

【１】下図で扉の吊元を確認します。



【２】①キーレックス本体裏の吊元変更ねじが下図のように
なっているかを確認します。

吊元変更ねじを入れ替えたら、しっかりと締め付けます。



記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
 1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。 (同じボタンを 2 度押しする設定はできません)
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ ● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し ● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用 ● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意
(故障の原因となります) ● 製品の分解、改造はしないでください。
 ● デッドラッチ、デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 ● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために ● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 ● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。
 汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。